

(政務活動費用)

(様式1)

出張報告書

令和元年10月10日

釧路市議会議長 松永 征明 様

会派名 新創クラブ

代表者名 畑中 優周



次のとおり、政務活動費による出張を終えましたので報告します。

受命者	畑中 優周、大越 拓也
出張先	札幌市、台湾 台北市
期間	令和元年10月4日 ～ 令和元年10月8日 (5日間)
用務	台湾108年国慶節祝賀レセプション (札幌市) 及び 台北市立動物園新タンチョウ展示場オープニング・セレモニー (台湾) 出席
調査(研修) 結果等の概要	別紙参照
備考	

注) 1 資料等がある場合、添付すること。資料は、事務局経由で会派へ返却するので、本出張報告書(原本)とともに会派で保管すること。

2 調査結果等の概要は、別紙による記載も認める。

## 台湾 108 年国慶節祝賀レセプション出席

開催日：令和元年 10 月 4 日～10 月 5 日（国慶節）

開催地：札幌市

担当者：台北駐日経済文化代表処 札幌分処長 周 学佑 氏

参加者：畑中 優周（釧路市議会日台友好促進議員連盟 会長）

大越 拓也（文責）（同 事務局長）

釧路市議会日台友好促進議員連盟は、様々な交易や交流が進む台湾との友好促進及び更なる関係の強化を図るとともに、日台両国の更なる交流の拡大によって釧路地域の活性化に寄与することを目的とし、平成 26 年度に道内で先駆けて設立された議員連盟であります。

一昨年は国の天然記念物である、マリモの発見命名から 120 周年にあたり、記念事業として、台湾の台北市にある国立台湾博物館にて特別展が開催されました。特別展では釧路市の人工マリモを無償貸与しましたが、台北動物園から強い要望もあり、これまで天然マリモの国外貸与について文化庁や環境省等と調整を重ねてきました。

今年の 10 月 6 日に開催される台北市台北動物園新丹頂舎の落成式典に併せて、天然マリモを展示されることになりました。

今年は、周学佑台北駐日経済文化代表処札幌分処長に新丹頂舎の落成式典出席の報告兼ねて、国慶節祝賀レセプションに出席しました。



（国慶節出席。左から 2 人目 周学佑 氏）

## 台湾訪問

訪問日：2019年10月5日（土）～10月8日（火）

訪問先：台湾台北市

参加者：畑中 優周、大越 拓也（文責）、伊東 尚悟、岡田 遼、河合 初恵

### 台北市台北動物園新丹頂舎の落成式典（10月6日）

一昨年は国の天然記念物である、マリモの発見命名から120周年にあたり、記念事業として、台湾の台北市にある国立台湾博物館にて特別展が開催されました。

植物学者で国立台湾博物館の初代館長を務めた川上瀧彌（かわかみ たきや）氏が阿寒湖でマリモを発見し命名者であるという縁を手掛かりに日台親善交流の一環として企画が浮上し、国の特別天然記念物に指定されているため、人工マリモを展示することになり海外に移送し展示されたのは海外初であります。

釧路市はこれまでも、様々な関係者の協力のもと2011年に、国の特別天然記念物のタンチョウを台北動物園に無償貸与するなど台湾との交流を深めております。タンチョウの無償貸与の縁で、平成23年には釧路市動物園と台北市立動物園の友好園協定を締結しています。その台北動物園からも阿寒湖のマリモを常設で栽培したいとの要請が以前より釧路市教育委員会に寄せられており、一昨年は人工マリモを無償貸与しましたが、台北動物園から強い要望もあり、これまで国外貸与について文化庁や環境省等と調整を重ね、新丹頂舎の落成式典に間に合い天然マリモを展示。

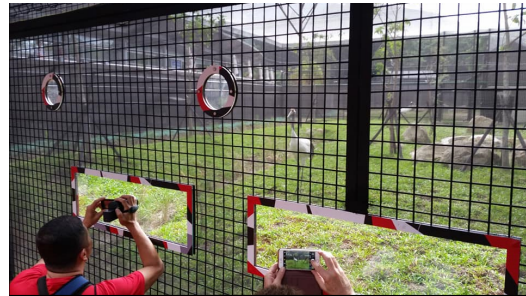
式典及び昼食会には釧路市側から、蝦名市長、岡部教育長釧路日台親善協会等の関係者、釧路市議会からは松永議長、釧路市議会日台友好促進議員連盟の畑中会長、大越事務局長、伊東議員、岡田議員、河合議員が出席。

日本には国の特別天然記念物が約70種類あり、その中で国外に渡ったのは、タンチョウとマリモの2例だけであり、しかもどちらも釧路市から台北動物園に渡りました。

蝦名市長の式典での挨拶にもありましたが、「2つの特別天然記念物貸与は台湾への日本国、北海道、そして釧路市からの信頼と親交の証である」と。

釧路市の郷土の宝であるタンチョウとマリモをとおして更なる交流促進に繋が

ることを願ってやみません。



台北市旅行会社セールスコール（10月7日）

訪問先：雄獅旅行社、東南旅行社、大榮旅行社、可樂旅行社、山富旅行社

○セールスにかかる共通説明事項

ニュー阿寒ホテル（新妻部長）カムイルミナ、ロストカムイ、鶴雅との連携商品について

鶴雅（山浦マネージャー）鶴雅パンフレット配布について

観光汽船（小林課長）砕氷クルーズチラシ配布について

釧路市観光振興室（冷川主幹）台湾キャンペーンについて

[市議団含むセールス側の主なコメント]

- ・阿寒湖では鶴雅、カラカミ観光で協力して高額とノーマルのモーターボートクルーズ込みの連泊商品を提供することに決めた。
- ・団体向け用の昼食ができる飲食店のリストを観光コンベンション協会と連携して利用可能な飲食店一覧を整備している。整備出来次第、提供したい。釧路市でも手ぶらキャンプにかかる取り組みが動き出したところであり、コンテンツとして紹介できる段階になれば伝えたい。
- ・釧路市の中心部においても橋のライトアップを開始するなど、夜の楽しみを増やす取り組みを進めている。また、LCCの就航に伴い、台湾からの乗り継ぎによる安価な移動ができるようになり、移動経路の選択肢も増えた。
- ・来年、カムイルミナは様々な方面からの意見を受けて、中国語対応を必ず実施するよう進めている。

[旅行会社の主なコメント]

- ・旅行者に、ベジタリアンが増えてきているので、高価な料理ではなくても食事ができる場所があれば助かる。また、特に市街地では、ベジタリアン向けの看板の表示や、レストラン情報が必要である。
- ・手ぶらキャンプは台湾でもニーズが増えてきている。千歳やニセコでは手ぶらキャンプができる場所があることも把握している。手ぶらキャンプのツアーも欲しいと考えている。
- ・B級グルメの店は狭いので団体客の受入れは無理である。料理は肉より海鮮系は受けが良い。
- ・台湾は夜を楽しむ文化があるので、旅行者から夜のイベントがないかと問い合わせがある。
- ・LCCは試しに利用したが、中華航空とエバー空港の方が使い勝手が良い。

- 北海道のF I Tは多いが、団体客よりは少ない。F I Tは都市部集中になっている。個人は交通の便が良くないところには行かない傾向にある。
- 台北市内のバスや電車広告、w e b 広告は目に留まると思う。テレビ番組の取材でドキュメンタリーなど放送されると効果があるかもしれない。
- 北海道は人気があるが現在は、東北がライバルだと思う。今は紅葉と言えば、東北というイメージがある。
- エアラインは新規就航路線が増えているが値段が高い。バスが一番安価な商品を作れる。
- 台湾にも温泉があるので、温泉目的で北海道には行かない。
- ホテルのランチは飽きるので、和商市場にレストランなどがあると便利である。
- 台湾では羊はあまり食べないので、ジンギスカンより海鮮の方が良い。

